

科目名	視覚機能検査学講義			分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎教授 池田結佳 教授(客) 木田淳子 講師 渡部 維					科目ナンバー	T1C109
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	通年	授業方法	講義
授業の概要	検査学の基礎となる、眼球・網膜視細胞・視神経・大脳皮質視覚野、さらに高次感覚野までの機能とその異常についてより深く学修する。						
授業の到達目標	①眼の発生、眼遺伝子発現について説明できる。 ②眼底、神経の基本構造、機能とその異常について説明できる。 ③大脳皮質視覚野、高次感覚野の機能について説明できる。						
授業計画	回数	担当者			行動目標		
	1	渡部 維	講師		眼の発生について説明できる。		
	2	渡部 維	講師		眼底の構造を説明できる。		
	3	渡部 維	講師		視神経乳頭について説明できる。		
	4	渡部 維	講師		眼遺伝子発現について説明できる。		
	5	渡部 維	講師		遺伝性眼疾患について説明できる。		
	6	木田 淳子	教授(客)		神経の基本構造について説明できる。		
	7	木田 淳子	教授(客)		瞳孔の解剖と対光反射について説明できる。		
	8	木田 淳子	教授(客)		病的散瞳について説明できる。		
	9	木田 淳子	教授(客)		病的縮瞳について説明できる。		
	10	木田 淳子	教授(客)		瞳孔異常をきたす代表的脳疾患について説明できる。		
	11	池田 結佳	教授		視覚情報処理過程について説明できる。		
	12	池田 結佳	教授		視覚情報処理過程について説明できる。		
	13	池田 結佳	教授		視覚情報処理研究の現状について説明できる。		
	14	池田 結佳	教授		視覚情報処理研究の現状について説明できる。		
	15	池田 結佳	教授		講義の振り返りと習熟度確認		
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおく。次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておく。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し復習しておく。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子:「視能学」第2版文光堂 その他、その都度指定する。						
参考書							
成績評価の方法および基準	レポート50%、口頭試問50% 欠席・遅刻・早退は減点の対象となる。欠席は1回につき5点減点、遅刻・早退は1回につき2点減点とする。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップDP1を参照し理解すること。						